

都市計画提案で都に批判続出

外環の2話し合いの会

15704/05 日

武蔵野市の地上部街路「外環の2」についての住民と都などの「話し合いの会」が3月27日、武蔵野商工会館で行われました。

「話し合いの会」では、杉並区善福寺2丁目の住民から出された約300名にわたって「外環の2」を廃止する都市計画提案の扱いについて都が報告。これは地権者の79%にあたる121人が賛同して提出したも

ので、2年半にわたり都の様々な注文をクリアして昨年12月2日、都が正式に受理したものです。

都は、杉並区の意見を聞く前に「道路ネットワークを分断することは適切でない」などの理由で「都市計画を変更する必要はない」との判断を下したことを説明しました。

住民側代表からは「提出から都が受理するまで3年



大勢の傍聴者が詰めかけた武蔵野市での「話し合いの会」= 3月27日、武蔵野商工会館

もかかっているのに、受理から2カ月後に、理由にもならない理由で必要ないと

いつている。杉並区の意見をこれから聞くとしようが、その意見を尊重するべきだ」「121人の地権者がこれだけ強い意思を持って廃止提案をつくったというのほすごいことだ。都の回答はあまりにもお粗末。次回『話し合いの会』では、冒頭からこの問題をとりあげてほしい」など、都に対する批判が次々と出されました。

この意見を受けて次回「話し合いの会」でさらに議論していくことが確認されました。